



## ドイツのスポーツ少年団と交流

ドイツのスポーツ少年団員 8 名が志布志市を表敬訪問し、2 名が志布志市にホームステイしました。

8 月 5 日から 7 日まで、16 歳と 17 歳の女性 2 名が、脇田和美さん宅（有明町野井倉）にホームステイしました。ホームステイ初日は、バーベキューや花火で歓迎され、翌日は市内を観光しました。また、泳ぎの好きな 2 人は B & G のプールで泳ぐなど、短い滞在期間ではありましたが志布志の夏を楽しみました。



## 山形県酒田市の児童と交流

マリネジャー体験などを通して、互いの友情を深め、思い出に残る夏の交流となりました。

8 月 5 日から 8 日まで、平成 6 年から続き 23 回目となる山形県酒田市との相互交流事業が行われ、酒田市から 10 名の児童が志布志市を訪れました。本市からも 10 名の児童が参加し、「酒田市の友だちと志布志市の良さを発見できてよかった。1 月に山形に行くのが楽しみ」と感想を話しました。

## 親子で一緒に学習しました

親子でめぐる志布志の歴史バスツアーが開催され小学生と保護者が志布志の歴史を学びました。

7 月 31 日、市埋蔵文化財センターや市内の各地に残る文化遺産を見学しながら、志布志の歴史を楽しく学びました。参加した保護者は「夏休みに、親子で志布志の歴史を勉強できてよかった。私も知らないことが多かったので、もっと親子で志布志の歴史を知ってきたい。」と話しました。



## ボート競技の国体出場を決めました

国体九州ブロック大会の少年男子舵手付カヌーで優勝しました。

7 月 16 日と 17 日、宇都中学校出身で鹿屋工業高校 3 年の草場健太さんと新川洋輔さんが、宮崎県で開催された国体九州ブロック大会に鹿児島県選抜チームの一員として出場し、見事優勝しました。鹿児島県選抜チームは、10 月 6 日から 9 日に行われる岩手国体に出場します。



## 南日本経済賞を受賞しました

株式会社さかうえ（坂上隆社長）が第 11 回南日本経済賞（南日本新聞主催）を受賞しました。

8 月 22 日、坂上社長が市長室を訪れ受賞を報告しました。南日本経済賞は、地域振興、先進性、将来性などにより評価し、県内で 3 社が受賞しました。

同社は、IT（情報技術）を利用した農産物の生産管理システムを独自に開発するほか、耕作放棄地の利用や就農者の育成にも力を入れています。



## ぽっぽマルシェが開催されました

志布志駅においてぽっぽマルシェが開催され多くの来場客にぎわいました。

8 月 7 日、市内外からカフェや雑貨店など 23 店舗が出店し、フラやキッズダンス、バンド演奏なども行われました。また、7 月 18 日には宮崎市のフローランテ宮崎にぽっぽマルシェを出店し PR 活動を行っています。ぽっぽマルシェは 10 月以降も偶数月の第 1 日曜日に開催されます。

## サイエンスショーを楽しみました

柳田理科雄先生によるサイエンスショーを開催しました。

8 月 7 日、市文化会館で柳田理科雄サイエンスショーが開催されました。講話では、有名なアニメを題材にし、科学的に分かりやすく解説しました。また、ドライアイスを使った実験コーナーでは、ドライアイスの説明やロケット作成を行いました。来場者も参加し、大いに盛り上がりました。



## よむのび教室が開催されました

「よみとく力を身につけよう！」と南日本新聞「よむのび教室」出前講座を開催しました。

8 月 2 日と 3 日、志ふれあい交流館において開催された同教室に小、中学生 51 人が参加しました。新聞の歴史や写真の撮り方、見出しの付け方、各家庭に新聞が届く流れなどを学びました。また、小学生は新聞を使ったはがき新聞に挑戦し、中学生は気になる記事を切り抜きそれぞれ発表しました。

